

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149315号
(U3149315)

(45) 発行日 平成21年3月26日 (2009. 3. 26)

(24) 登録日 平成21年3月4日 (2009. 3. 4)

(51) Int. Cl. F 1
B 6 0 T 13/52 (2006. 01) B 6 0 T 13/52 Z
B 6 2 K 5/04 (2006. 01) B 6 2 K 5/04 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-6564 (U2008-6564)
 (22) 出願日 平成20年8月19日 (2008. 8. 19)

(73) 実用新案権者 508164415
 杉田 直之
 香川県高松市前田西町 1 1 2 5 - 7
 (72) 考案者 杉田 直之
 香川県高松市前田西町 1 1 2 5 - 7

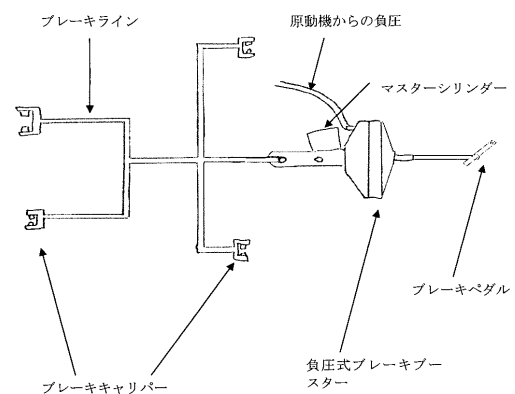
(54) 【考案の名称】 トライクのブレーキシステム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】身体的に障害のある人や高齢者の自由にかつ気軽に自動二輪車の気分を味わいたいという夢を具現化するため、より少ない踏力で制動力を高めたトライクを提供する。

【解決手段】少ない踏力で制動力を高めるために、自動車に一般的に使用されている負圧式のブレーキシステムを導入し負圧式ブレーキブースターとマスターシリンダーと前後輪側のブレーキラインとでなるトライクのブレーキシステム装置とする。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ブレーキペダルと、当該ブレーキペダルの踏力を倍加させる負圧ブースターおよびマスターシリンダーと前後輪側のブレーキラインとで構成され、踏力を増幅することを特徴とするトライクのブレーキシステム

【考案の詳細な説明】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

本考案は、車体と、この車体に取り付けられたハンドルにより操舵される一つの前輪と、前記車体に搭載されたエンジンにより駆動される左右一対の後輪を備えたトライクに関する。

【背景技術】

【0002】

トライクのブレーキに関しては、シリンダー型のブースターを使用しており、自動車に一般的に使用されている負圧式のブースターを使用していなかった。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

20

この考案は、安価でかつ信頼性の高いトライクを提供し、身体的に障害のある人や高齢者の自由に自動二輪車の気分を味わいたいという夢を具現化するため、より少ない踏力でブレーキの制動力を高めることを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0004】

課題を解決するために講じた本考案の手段は、自動車に一般的に使用されている負圧式のブレーキシステムを導入し負圧式ブレーキブースターとマスターシリンダーと前後輪側のブレーキラインとでなるトライクのブレーキシステム装置の構成とする。

【考案の効果】

【0005】

30

エンジンからの負圧をブレーキブースターに利用することにより、ブレーキペダルを押し込む力を増幅し、マスターシリンダーからブレーキ液を押し出す力が倍化し、より少ない力でブレーキの制動力を高めることができる。

【実施例】

【0008】

図1はブレーキシステムの構成図である。

【0009】

ブレーキペダルを踏み込むことにより、マスターシリンダーからブレーキ液を押し出すことになるが、これにエンジンからの負圧を取り込む負圧式のブレーキブースターを利用し、その押し出す力を、倍化させブレーキラインを通った圧力は、各ブレーキキャリパーに設置されたブレーキパッドを押し出す。

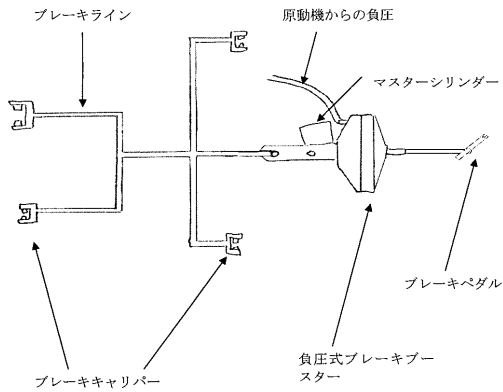
40

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】ブレーキ構成図

【図 1】



【手続補正書】

【提出日】平成20年12月17日(2008.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

ブレーキペダルの操作に応じてブレーキ液を加圧するマスターシリンダーとマスターシリンダーからのブレーキ液圧に応じて車両の前後輪に設けられた液圧式のブレーキキャリパーとマスターシリンダーにおいて発生する液圧を液圧式のブレーキキャリパーに伝達するブレーキラインとバイクの車体に取り付けられたブレーキペダルから構成されたブレーキシステムに負圧倍力式のブレーキブースターを組み合わせることを特徴としたバイクのブレーキシステム